アーバンシリーズ

ZB-1500H, ZB-1510HPL(R), ZB-1520HPL(R), ZB-1530HPL(R), ZB-1400HPL(R), ZB-1410HPL(R)

設置前に必ずお読みください

● 設置に際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく設置してください。
この取付説明書は浴槽周囲の壁仕上げ完了まで活用します。捨てずに次工程の取付業者の方に手渡してください。
※この取付説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。

●「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。

● 人造大理石浴槽、FRP浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。

安全のため必ずお読みください

● ここでは設置に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。設置前にこの項目をよくお読みいただき、正しく設置してください。

用語および記号の説明

⚠ 注意……「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

……気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

……行ってはいけない「禁止」の内容です。

……必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※足を滑らせて**ケガをしたり、浴槽にキズが付く恐れ**があります。

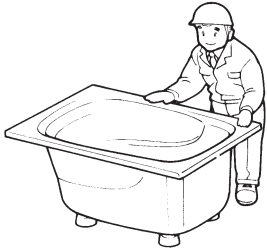
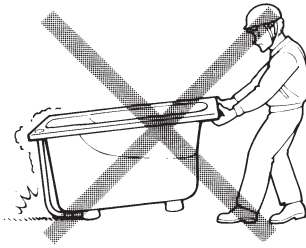
設置に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

2階以上の階に設置する場合や、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽上縁面（フランジ上面）より高く設けてください。また配管取出部は確実に防水処理を行ってください。
※防水工事に不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

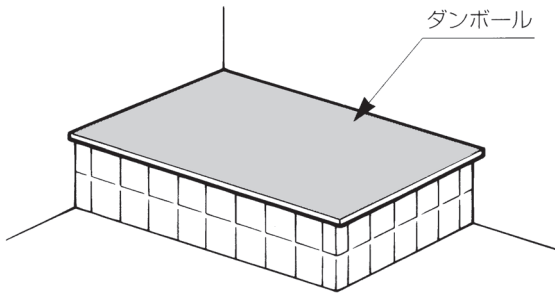
浴槽と壁・タイルの接合部分は、必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※設置に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

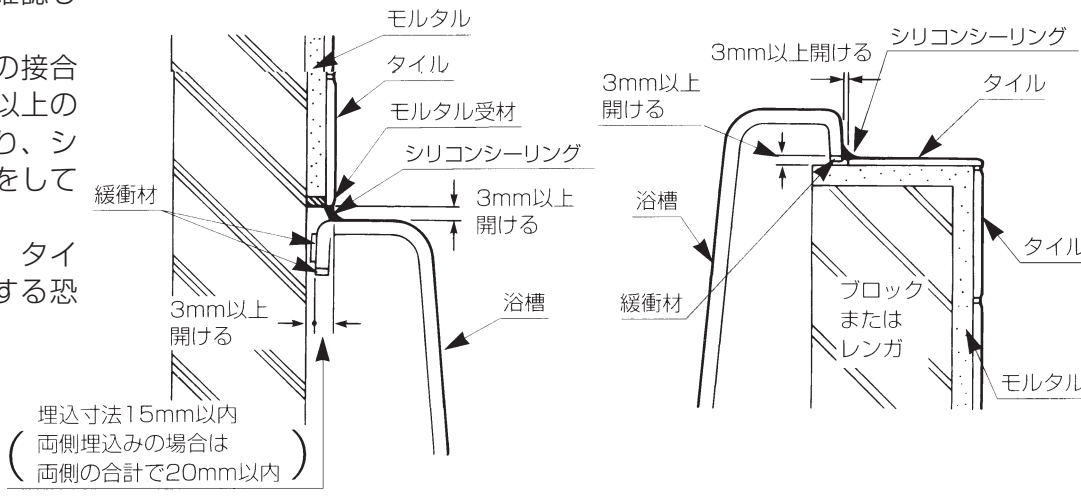
循環釜を取り付ける場合は、循環釜の取付説明書もよくお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

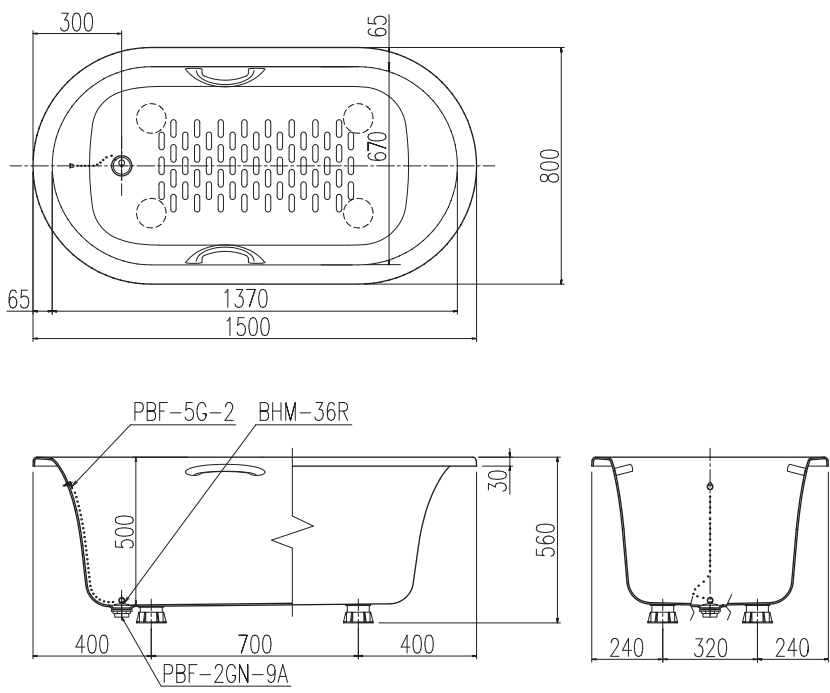
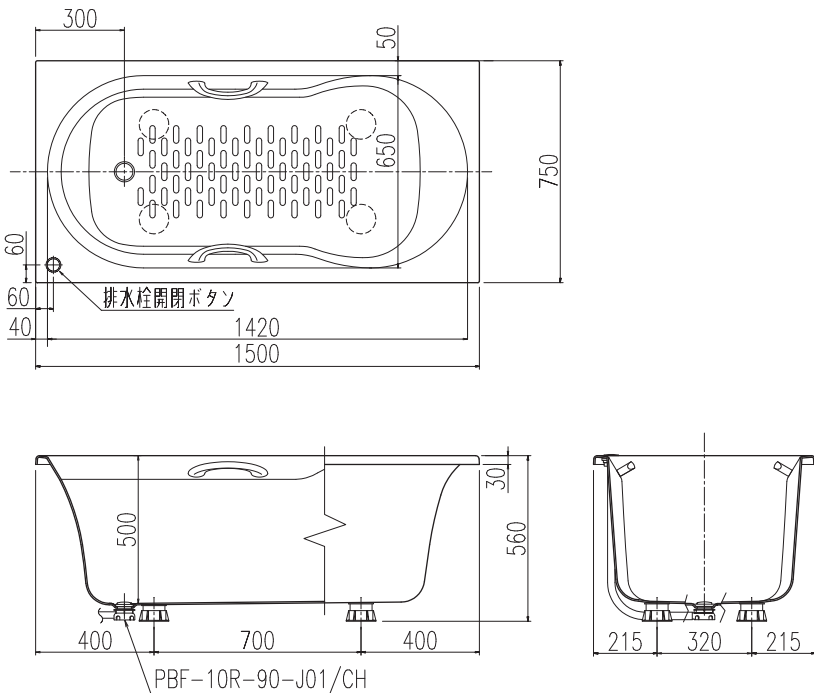
設置前のご注意

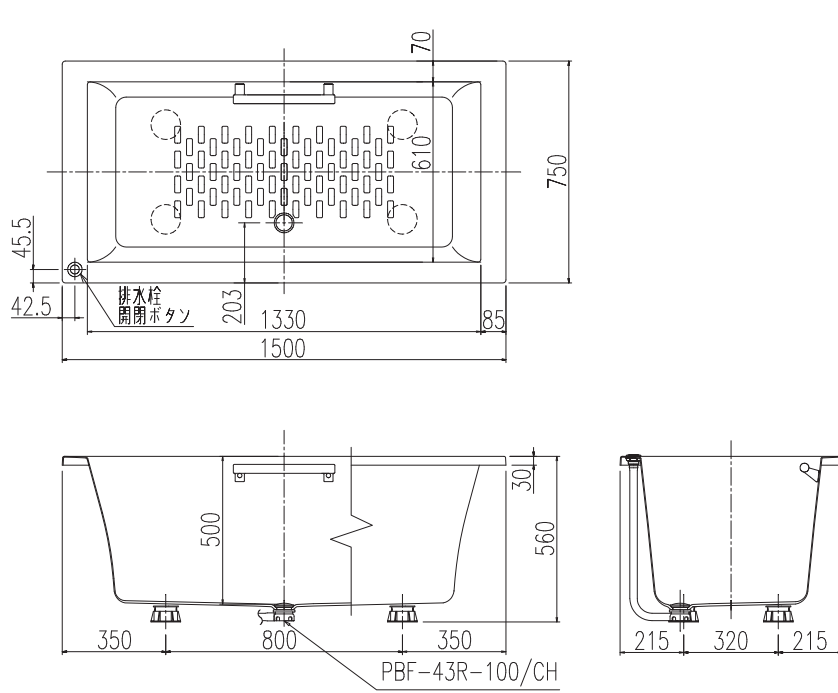
●浴槽本体に破損等がないことを確認してください。
※商品には万全を期してありますが、輸送等で**破損している場合**があります。
そのような場合は、取扱店または当社支社へお問い合わせください。

●必ず搬入経路を確保してください。
また、運搬するときは必要人数を確保し、引きずらないでください。
※**浴槽が破損する恐れ**があります。

●排水口の固定がゆるんでいないことを確認してください。
※輸送等で**ゆるんでいる場合**があります。

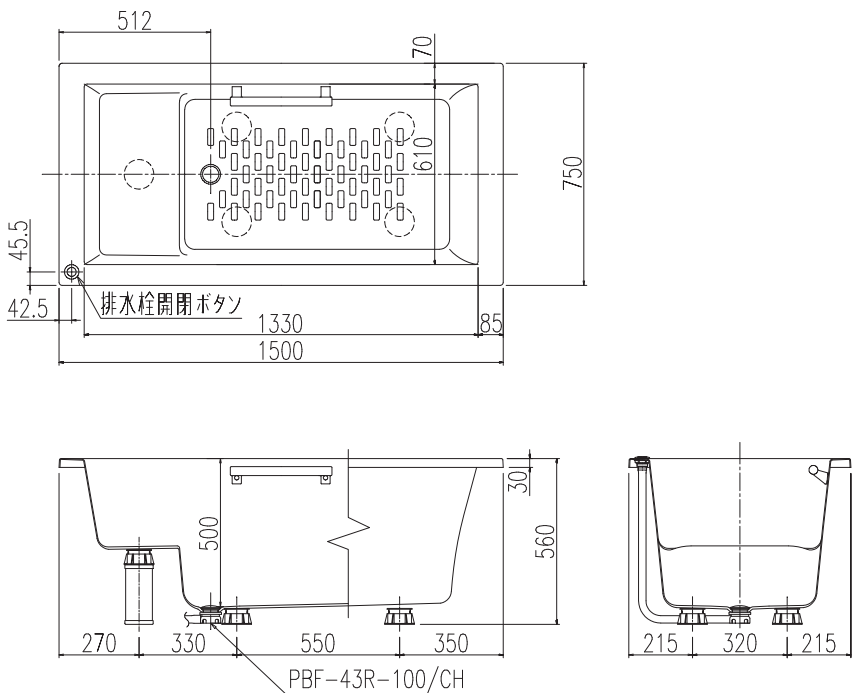
●設置に必要な部分以外は、できるだけダンボール等で、十分に保護してください。
※**浴槽にキズが付く恐れ**があります。

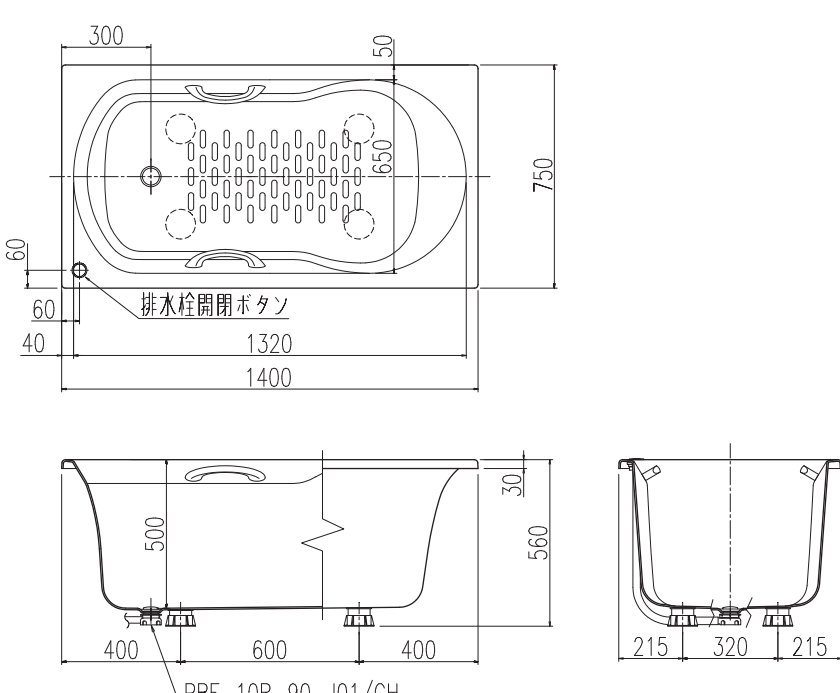
●納品された部品の確認を必ず行ってください。

●浴槽の排水金具は間接排水用です。直接排水の場合には、別途直結排水用金具をご発注ください。

●壁材との取合いを確認してください。
●浴槽本体とタイルの接合部分は必ず3mm以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※浴槽の膨張等で、タイルや浴槽が破損する恐れがあります。

商品図

● ZB-1500H

● ZB-1510HPL(R)

※上図はＬタイプです。Ｒタイプは左右対称となります。

● ZB-1520HPL(R)

※上図はＬタイプです。Ｒタイプは左右対称となります。

● ZB-1530HPL(R)

※上図はＬタイプです。Ｒタイプは左右対称となります。

● ZB-1400HPL(R)

※上図はＬタイプです。Ｒタイプは左右対称となります。

● ZB-1410HPL(R)

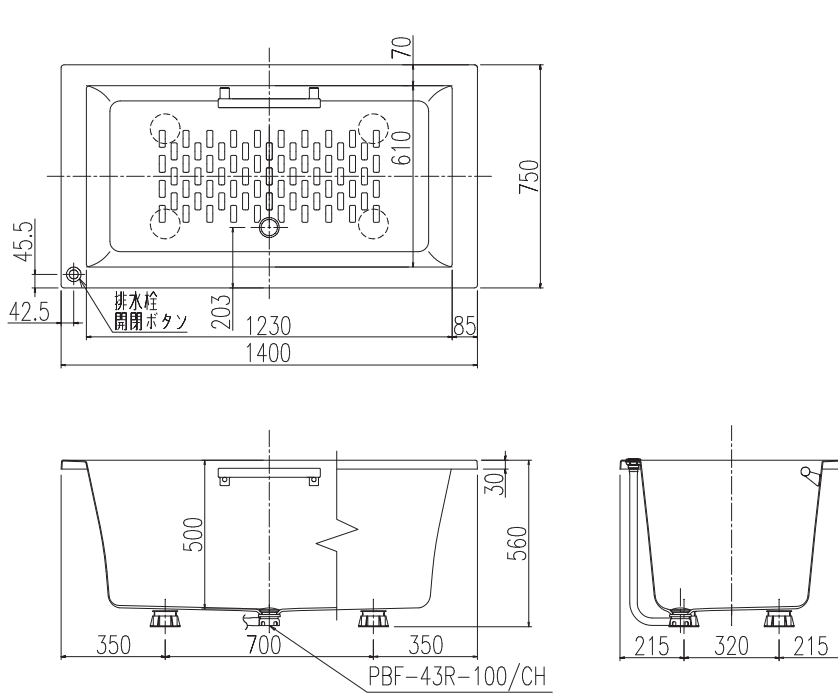
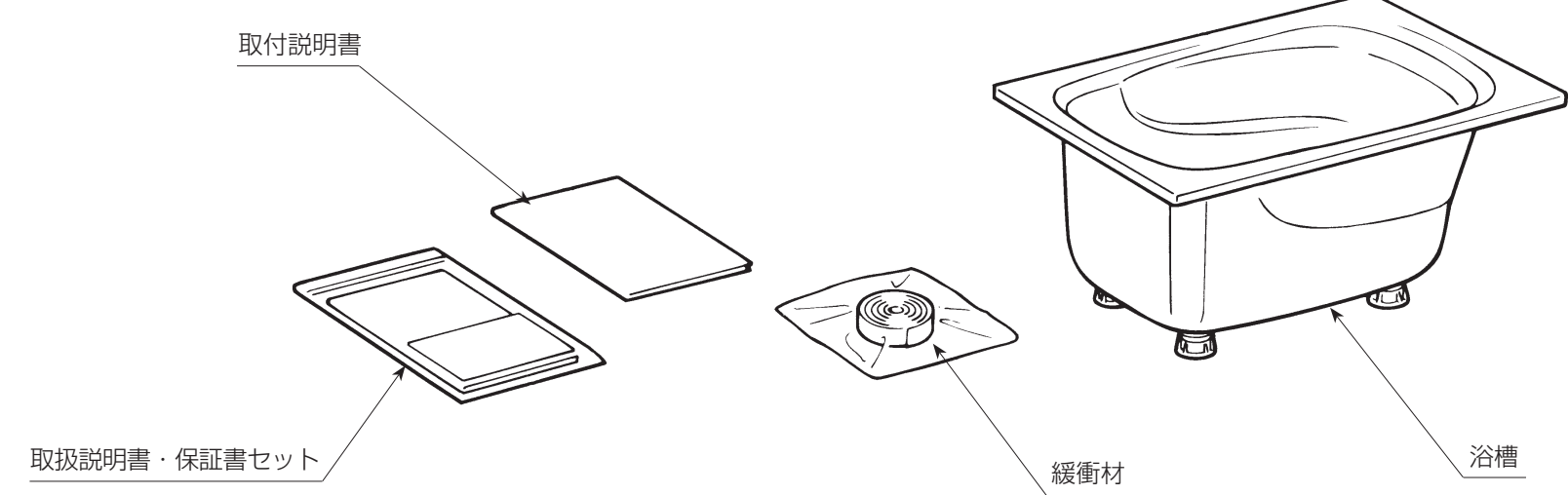
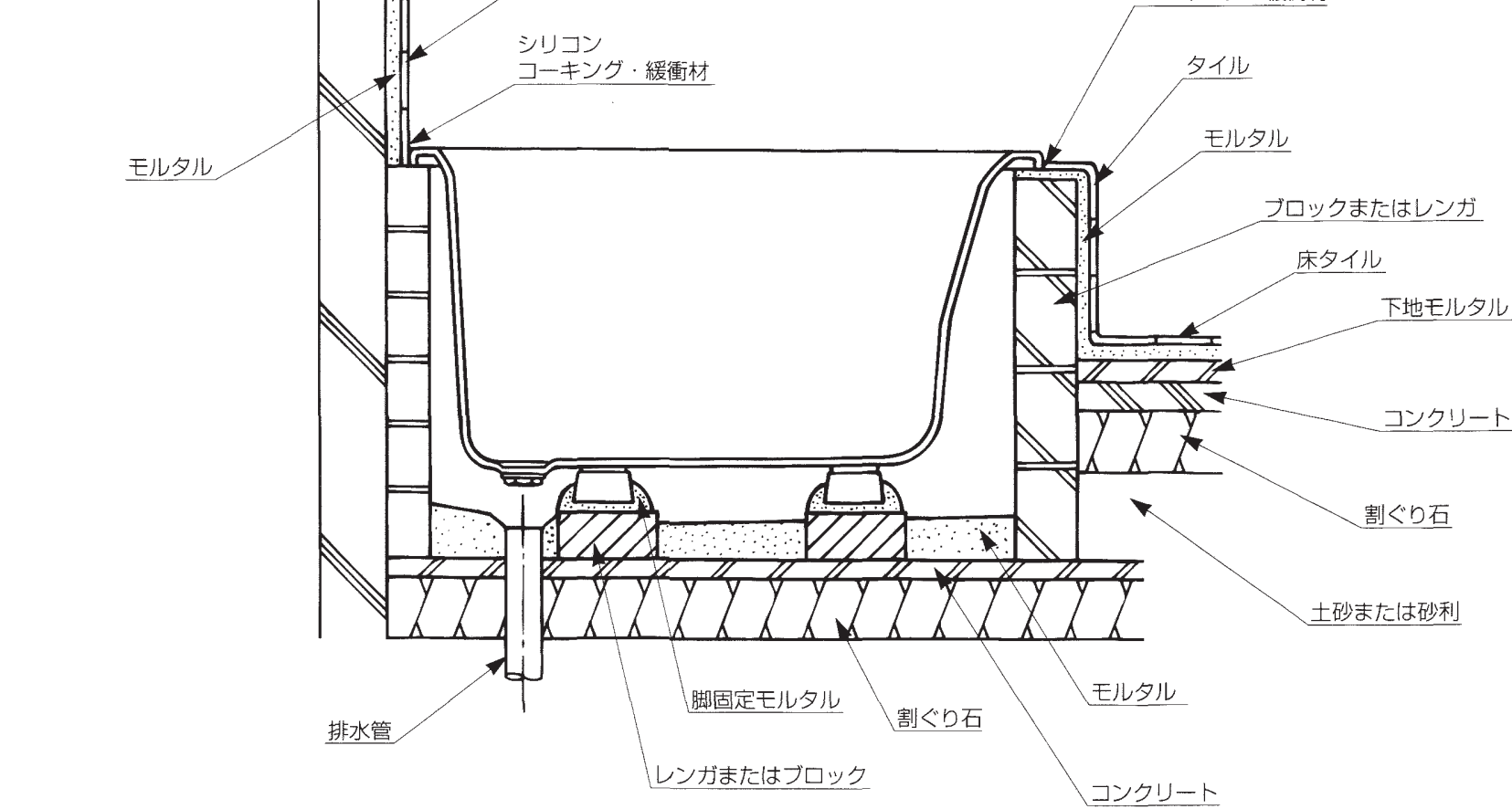
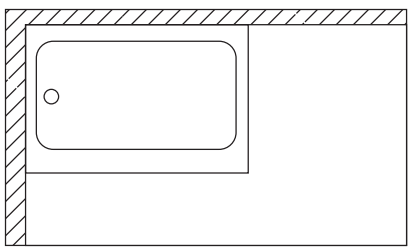
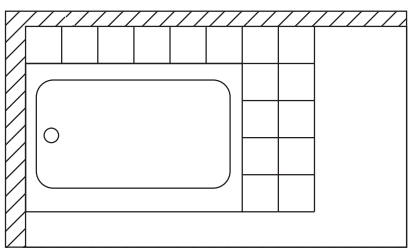
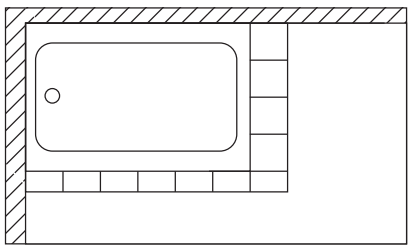
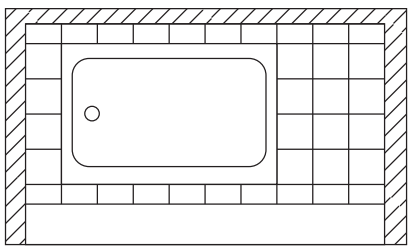
※上図はＬタイプです。Ｒタイプは左右対称となります。

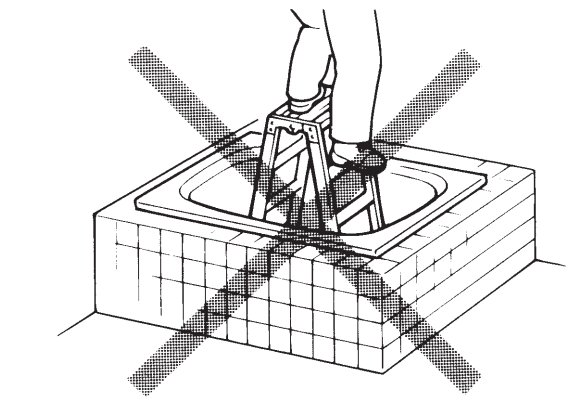
株式会社 LIXIL

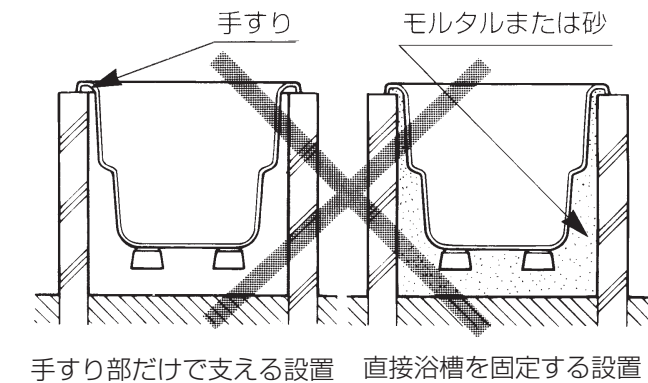
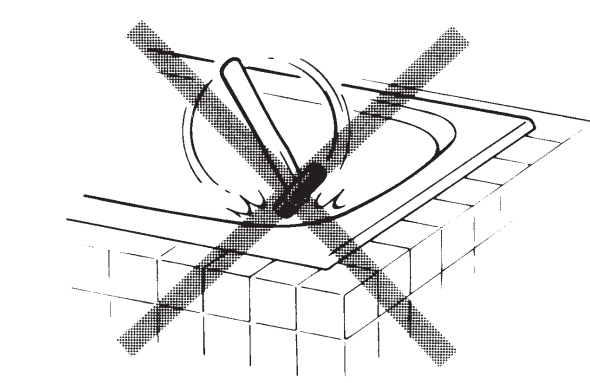
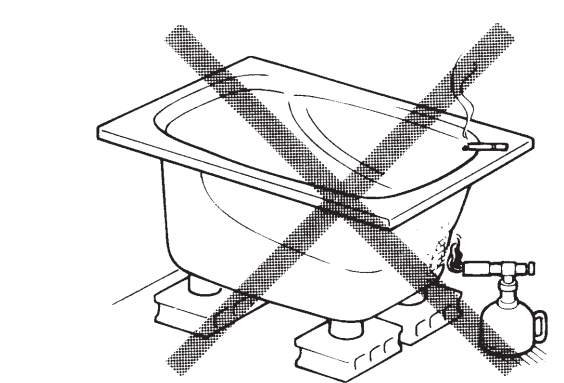
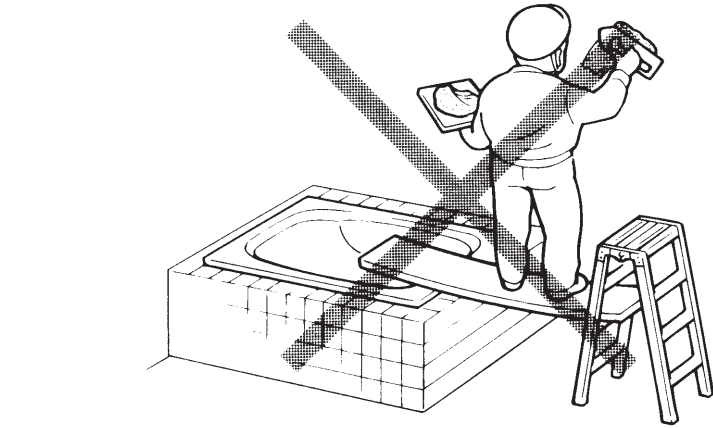
お客さま相談センター商品相談窓口　ナビダイヤル　☎0570-017173
平日「9：00〜18：00」対応　土日・祝日「9：00〜17：00」対応（年末年始・夏期休暇は除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などご利用できません。☎0562-31-0793をご利用ください。

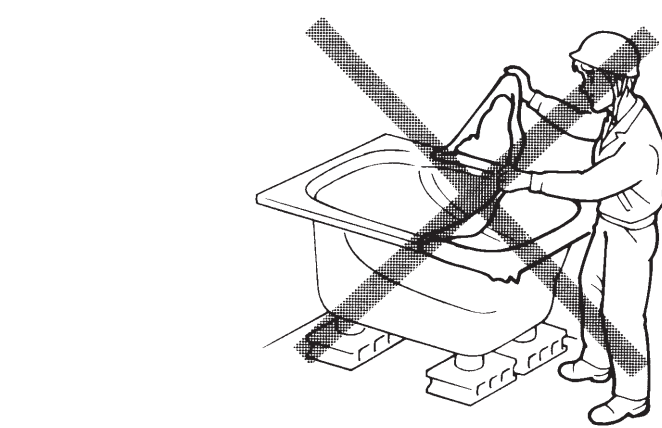
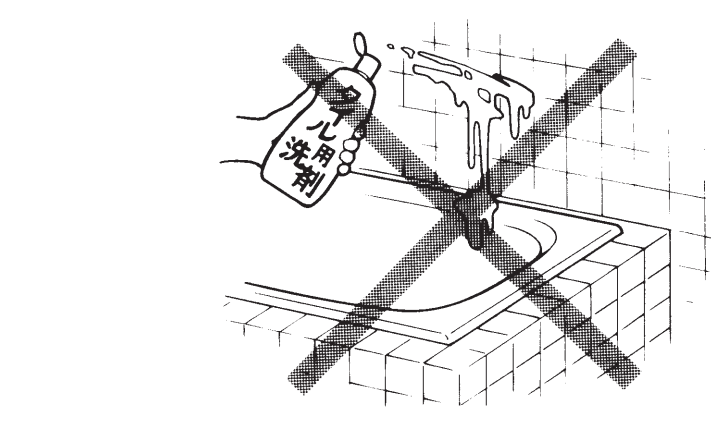
このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
この取付説明書をよく読み、正しく本商品
を設置してください。

部品の確認

設置例

設置プラン

設置上のご注意

●絶対に土足で乗ったり、脚立等を浴槽内に立てないでください。
※浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。

●モルタルや砂で直接浴槽を固定する等、裏面から直接圧力が加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れがあります。**

手すり部だけで支える設置　直接浴槽を固定する設置

●浴槽に硬いものをぶつけたり、工具等を落さないでください。
※浴槽が**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。

●トーチランプの火や溶接の火花、タバコの火等が浴槽に当たらないようにしてください。
※浴槽が**破損したり、変色する恐れ**があります。

●浴槽の上部に重いものを載せたり、表面にモルタル等を付着させないでください。
※浴槽に**キズが付く恐れ**があります。

●浴槽手すり部の養生シートは、設置が完了するまで、はがさないでください。
※浴槽表面に**キズが付く恐れ**があります。

ただし、手すり部を埋め込む場合は埋込部のシートのみをはがして設置してください。

●浴槽にタイル洗いの塩酸等を含んだ洗剤をかけないでください。
※浴槽が**傷みます。**
万一かかった場合は、すぐに水で洗い流してください。

設置方法

1　循環釜接続用の穴あけ（循環釜を取り付ける場合）

循環釜を取り付ける場合は、循環釜接続用の穴あけを行います。

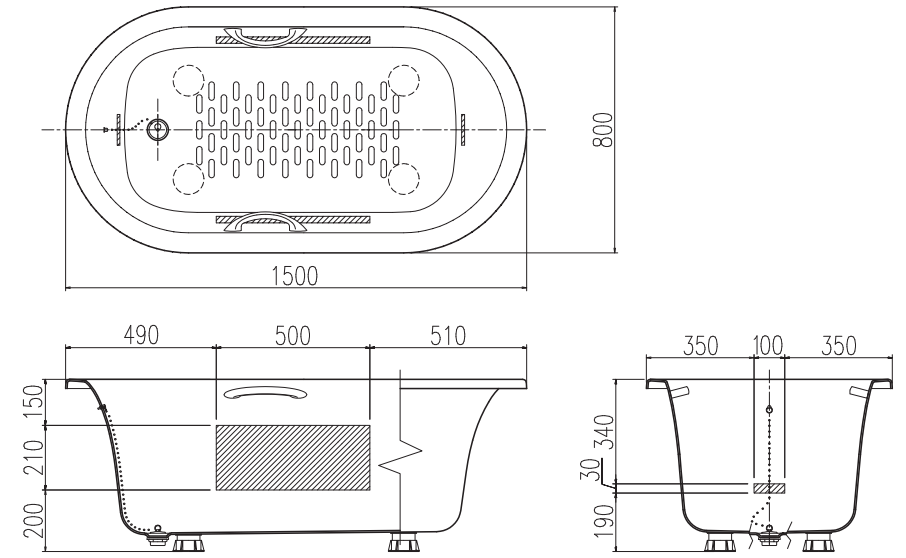
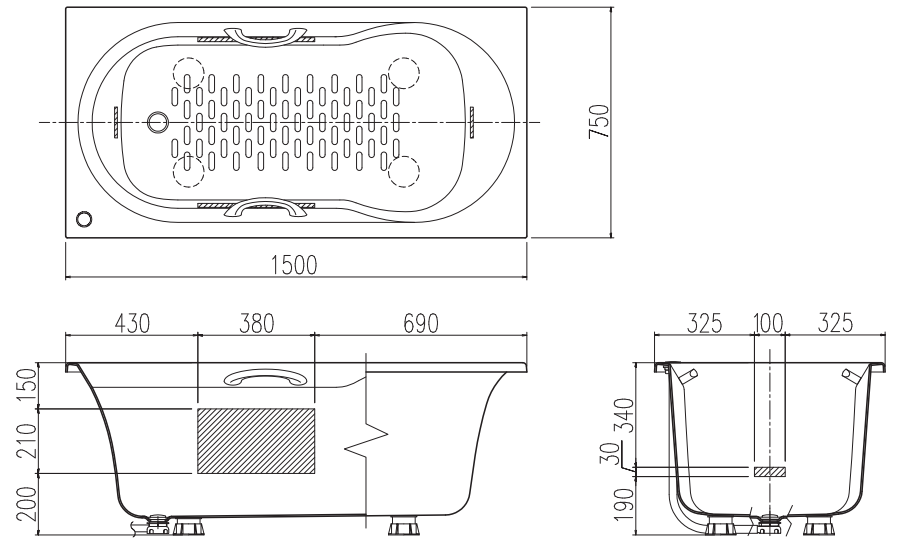
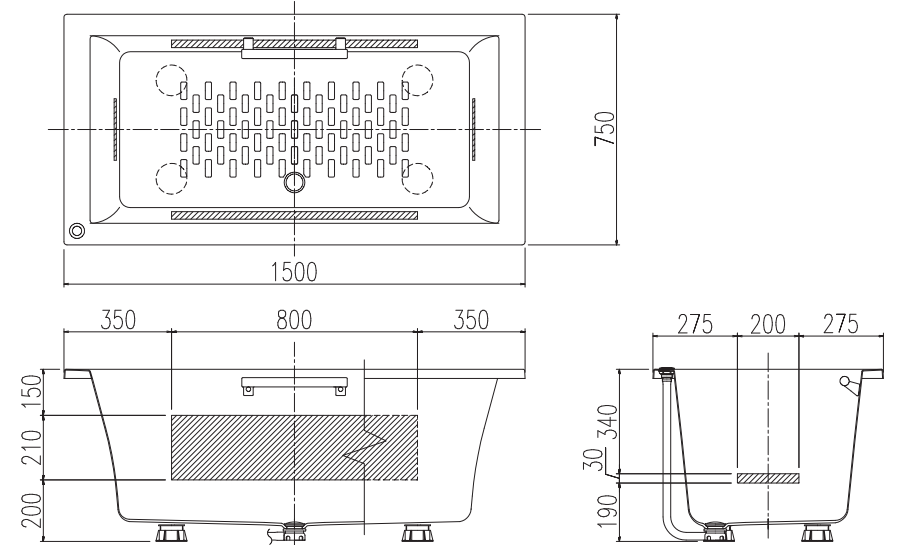
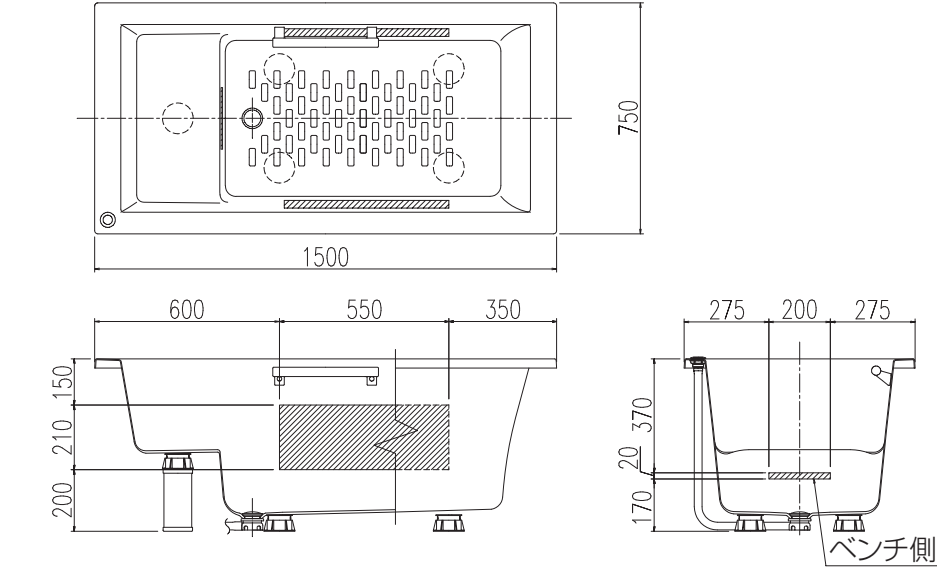
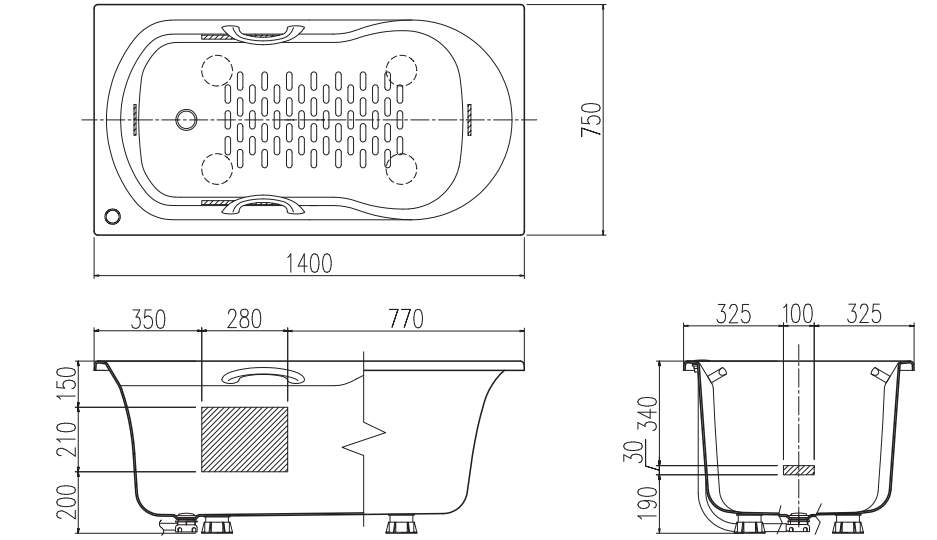
⚠ 注意

循環釜の取付説明書もお読みの上、正しく取り付けてください。
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

① 穴あけ位置（下図斜線部）を確認します。

●穴あけ位置（下図斜線部）以外に穴をあけないでください。
※**漏水の原因**となります。
循環釜の取付説明書もお読みの上、穴をあけてください。

※斜線部はφ50mmの穴をあける場合の穴あけ中心位置を示します。
※φ50mmより大きな穴をあける場合はその分、斜線部の内側によせて穴をあけてください。
※短辺側は自然循環式（2穴式）に対応できません。

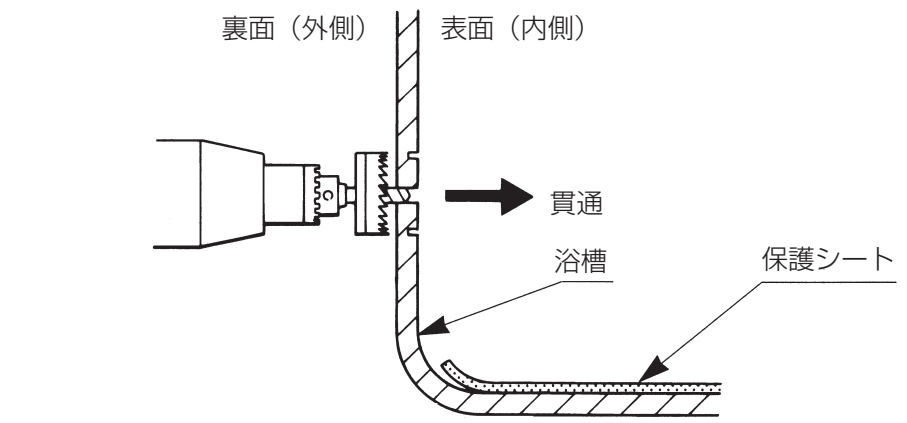
● ZB-1500H

● ZB-1510HPL(R)

● ZB-1520HPL(R)

● ZB-1530HPL(R)

● ZB-1400HPL(R)

● ZB-1410HPL(R)

② **φ5mmのドリル**でセンター穴をあけます。

●ドリルはよく切れるものをお使いください。
そして、穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※**穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れ**があります。

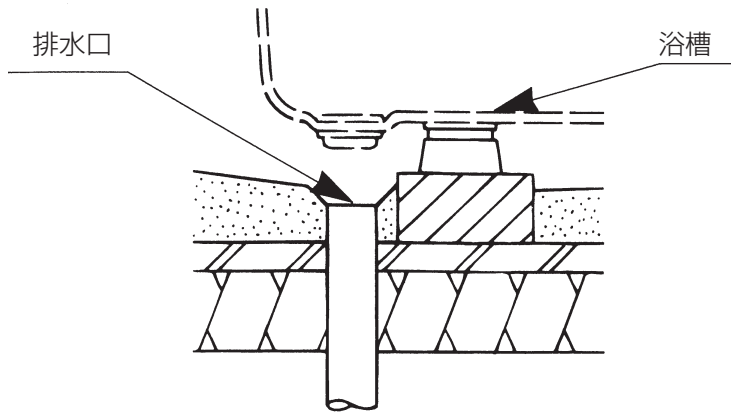
③ 浴槽表面（内側）からセンター穴をガイドにして、ホルソーで肉厚の約半分（約4mm）まで穴をあけます。

●ホルソー（超硬刃付き）やホルソーのセンタードリルはよく切れるものをお使いください。
そして、穴あけ面と垂直にして、強く押し付けず、ゆっくりと慎重に行ってください。
※**穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れ**があります。
●ホルソーのセンタードリルが浴槽を貫通した際に、ホルソーが浴槽に強くぶつからないようにしてください。
※**穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れ**があります。
●一気に貫通しないでください。
※**穴の周囲が破損したり、そこから割れが発生する恐れ**があります。

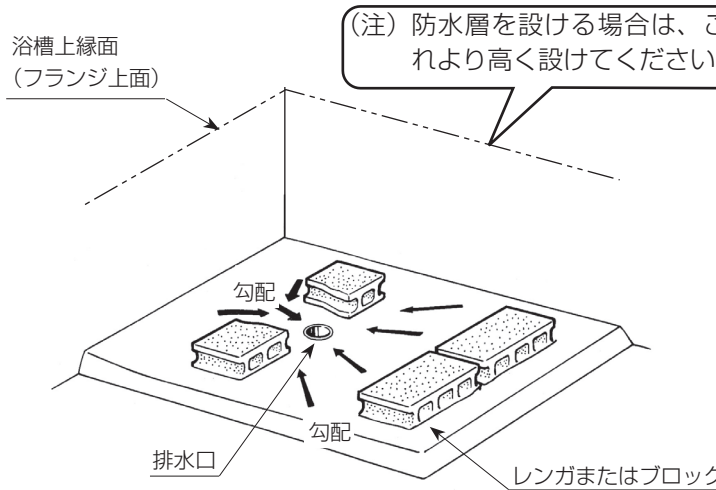
④ 浴槽裏面（外側）からホルソーにて貫通穴をあけます。

⑤ 穴あけ後はサンドペーパー（＃150程度）等で穴の切口を滑らかに仕上げます。

●サンドペーパー等で仕上げる際に、浴槽表面（内側）にキズを付けないようにしてください。

2　浴槽の下地作り

① 排水口の位置を商品図で確認し、φ75mm以上の穴を設けます。
※排水は**間接排水**としてください。

② 排水口への排水勾配（1／50～1／100程度）を設けます。

③ 浴槽脚部の位置を商品図で確認し、土台の位置を決めます。

④ 浴槽の土台にはレンガ、またはブロックを使用し、上面が水平になるように固定します。

⚠ 注意

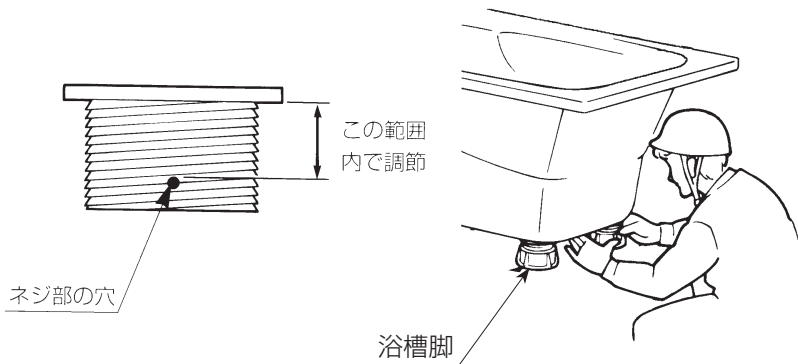
2階以上の階に設置する場合や、水漏れによる被害が予想される場所に設置する場合は、必ず防水層を設けてください。防水層の立ち上がりは、浴槽上縁面（フランジ上面）より高く設けてください。
また配管取出部は確実に防水処理を行ってください。
※防水工事に不備があると、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

3 浴槽の設置

ワンポイント

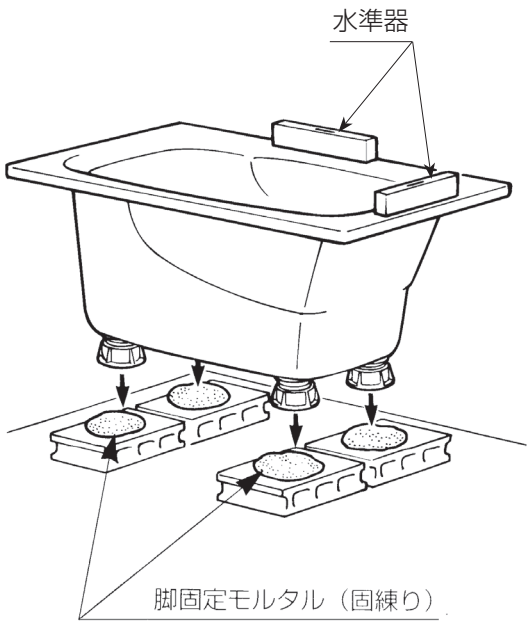
〔浴槽脚の調節について〕

●浴槽脚は高さ調節が可能です。
（1 回転で約 10mm）
※ただし、ネジ部の穴が見えない範囲で調節してください。

●ベンチ付浴槽（ZB-1530HPL(R)）の場合、奥のベンチ部分の脚に荷重が集中しないよう、他の脚より高くなっていないことを確認してください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

① 浴槽の土台に、モルタル（固練り）を盛ります。

② 浴槽のレベルに注意しながら、徐々に浴槽を押し下げます。

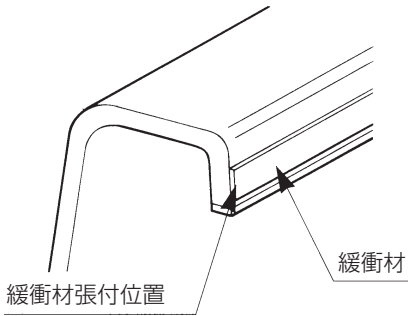
③ 水準器を浴槽の上面に載せ、水平を出します。
※水平がとれていないと、浴槽内に水が残る場合があります。

④ プッシュワンウェイ排水栓の場合、排水栓が作動するか確認してください。
※プッシュワンウェイ排水栓作動確認後は、養生シートをもとの状態に戻してください。

●モルタルが固まるまで浴槽に乗ったり、釜を取り付けないでください。
※**浴槽がかたむいたり、沈下する場合**があります。

●モルタルや砂で浴槽を直接固定する等、裏面から直接圧力が加わる設置や、手すり部だけで支える設置は絶対にしないでください。
※浴槽が**破損する恐れ**があります。

〔緩衝材について〕

●緩衝材は張り付けたまま設置してください。

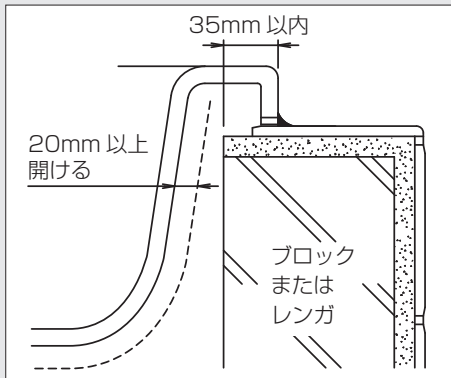
●エプロンなしの場合には、手すり部側面には、緩衝材が張られておりません。
4 仕上げの「設置例 1」、「設置例 5」のような場合には、必ず同梱の緩衝材を手すり部側面に張り付けた後に（右図参照）、設置してください。

4 仕上げ（手すり部取合い例）

〔壁面について〕

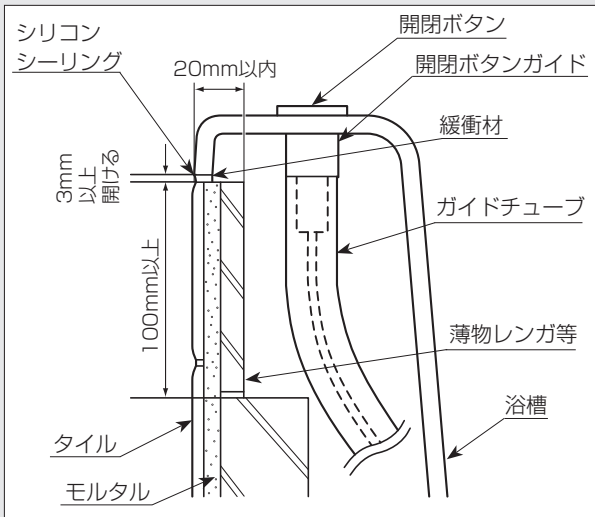
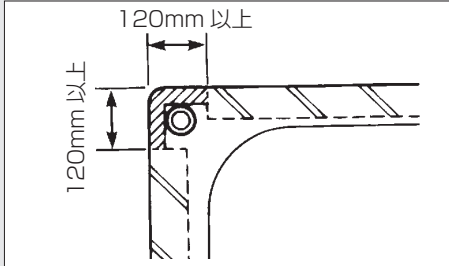
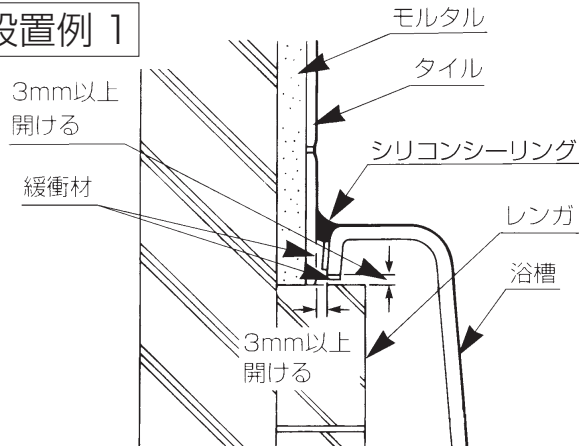
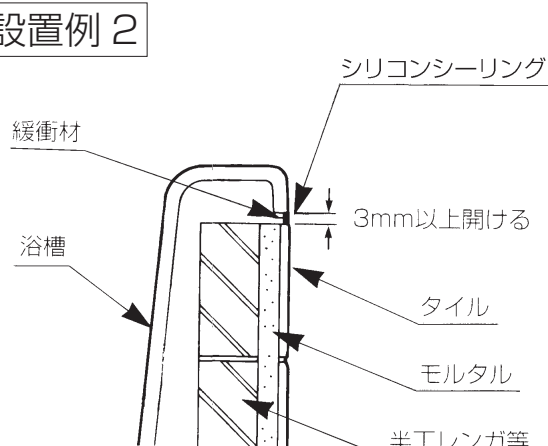
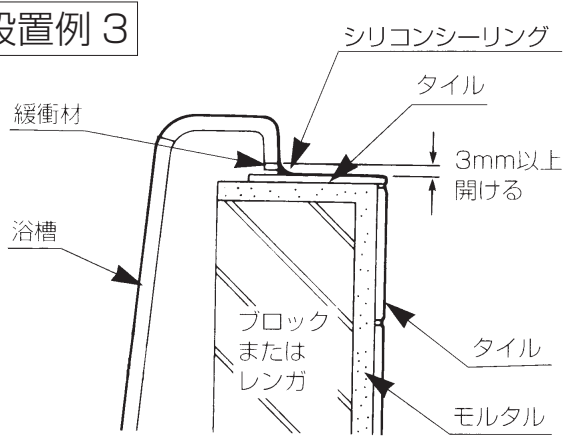
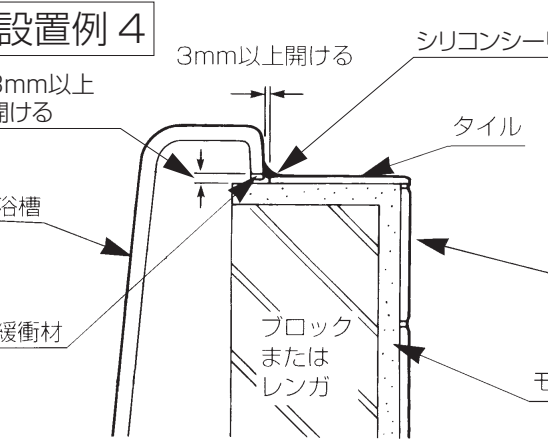
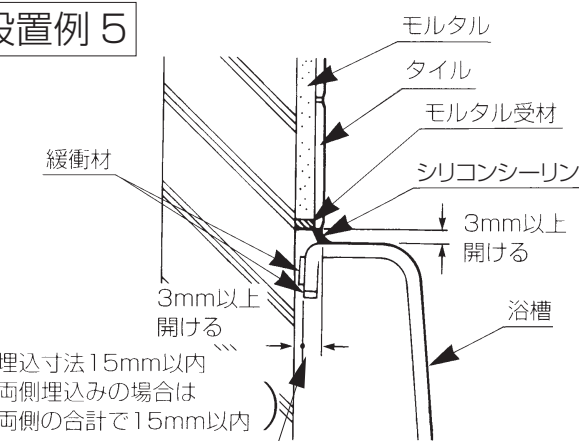
⚠ 注意

浴槽と壁・タイルの接合部分は必ず 3mm 以上のクリアランスをとり、シリコンシーリングをしてください。
※設置に不備があると**漏水したり、タイルや浴槽が破損する恐れ**があります。

⚠ 注意

「設置例 1 ～ 4」のようにブロックやレンガを浴槽内側に埋め込む場合、埋込寸法は 35mm 以内にしてください。
また、浴槽裏面（外側）から 20mm 以上開けてください。
※**浴槽に干渉し納まらない**恐れがあります。

⚠ 注意

仕上げ（プッシュワンウェイ排水栓取合い例）
－プッシュワンウェイ排水栓付の場合－

●プッシュワンウェイ排水栓（開閉ボタンガイドガイドチューブ）がブロックやレンガと当たらないようにしてください。
※プッシュワンウェイ排水栓が**破損したり、排水開閉ボタンが正常に作動しない恐れ**があります。

●「設置例 5」のように、手すり部を壁に埋め込む場合、埋込寸法は 15mm 以内にしてください。
（浴槽の両側を埋め込む場合は、両側の合計で 15mm 以内）
※**風呂フタが置けなくなったり、はみ出したりする場合があります。**
※プッシュワンウェイ排水栓の場合は、**排水栓開閉ボタンに風呂フタが当たる場合**があります。

確認

1 **清掃**
浴槽内のゴミや異物を取り除きます。

2 **水漏れの確認**
給水、排水して循環金具の取付部等より水漏れがないことを確認します。

3 **保護**
浴室の全ての工事が完了するまで浴槽全体をダンボール等で十分保護します。

4 **引渡し**
取扱説明書により正しい使い方をご説明の上、取扱説明書、保証書（内容記入の上）を必ずお施主さまにお渡しください。